

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回吉川市総合振興計画審議会
開 催 日 時	平成28年11月14日(月) 午後6時00分から 午後8時05分まで
開 催 場 所	吉川市役所 204会議室
出席委員(者)氏名	互金次郎委員、岩田京子委員、雪田きよみ委員、小野潔委員、 関根二三代委員、山崎浩幸委員、竹内武委員、廣瀬正子委員、 関根俊和委員、鈴木真理委員、石阪督規委員(会長)、 鈴木庄次委員、宇野昇委員(副会長)、高橋健太郎委員、 戸部等委員、石井亮英委員、泉瑞則昭委員、堀田孝義委員、 高崎康男委員
欠席委員(者)氏名	吉川敏幸委員、鈴木優吾委員、高野功委員
担当課職員職氏名	政策室長 岡田忠篤 政策室主幹 吉田誠 政策室企画担当副主幹 島村善和 政策室企画担当主査 宮田匡寿 政策室企画担当主任 東原拓哉
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1. 開会 2. あいさつ 3. 委員委嘱 4. 自己紹介 5. 会長及び副会長の選任 6. 諮問 7. 議事 (1) スケジュール及び会議の進め方について (2) 第5次総合振興計画後期基本計画(素案)について (3) 次回会議日程について (4) その他 8. 閉会 [公開・非公開] 公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	2人
会議資料の名称	次第 資料1「策定スケジュール・審議会の進め方等について」 資料2「吉川市を取り巻く現状・課題等について」 資料3「第5次総合振興計画後期基本計画(素案)部門別計画・重点テーマ編」 参考資料1「吉川市総合振興計画審議会条例」 参考資料2「吉川市総合振興計画審議会名簿」 参考資料3「吉川市総合振興計画審議会審議会傍聴要領」

	<p>参考資料：冊子「第5次吉川市総合振興計画基本構想・前期基本計画」</p> <p>参考資料：冊子「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」</p> <p>追加資料「施策体系図」</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	関根二三代委員、鈴木庄次委員
その他の必要事項	[その他の出席者（支援事業者）] 株式会社地域計画連合 相羽宏信主任研究員、渡邊安奈研究員
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局 市長	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 本日、大変お忙しい中、様々な分野の方にお集まりをいただき、お力をいただくことに感謝します。当市は、今後10年は人口の増加が見込まれ、新しい中学校の建設や吉川美南駅周辺の開発もこれから始まるということで、正に右肩上がりのまちです。傍からもそう見えており、実際、大きな可能性があります。地域別・分野別に検証してみると多くの課題があります。例えば、美南地区に新中学校を作りますが、その前段として小学校の教室が不足するくらい児童数が増えています。一方で旭・三輪野江地区では、1クラスしかなく、通学距離も長いので、親御さんたちが通学路の安心安全を不安に思っています。また、美南地区の開発が国に認められたところですが、三輪野江の三郷スマートインター付近の開発をどうするかによって、大きくまちのイメージが変わってくると考えています。是非、まち全体を見た視点でご議論いただきたい。</p> <p>また、総合振興計画には、まちづくりの基本理念があり、これに加えて、総合戦略の2つのテーマがあります。また、この年末には教育大綱が策定されます。この3つを十分に加味いただき、まちの未来を考えていただきたい。</p> <p>いずれにしても、計画策定後は、しっかりと実施していくとともに市民にお知らせしていくことが必要になりますので、委員の皆様には議論を深めていただくとともに地域や市民に広めていただくところまで担っていただきたい。</p> <p>これから議論をしていただきますが、策定された計画は、私が先頭に立ち、職員が一丸となって実行していくことをお約束します。</p> <p>3 委員委嘱 市長から委嘱書の交付</p> <p>4 自己紹介 出席委員、出席職員、出席支援事業者の自己紹介</p> <p>5 会長及び副会長の選任 委員から自薦・他薦の意見等がなかったため、事務局から会長</p>

	<p>に石坂委員、副会長に宇野委員を選出することを提案。 会長に石坂委員、副会長に宇野委員を選出することを全会一致で決定。</p>
<p>会長</p>	<p>6 諮問 市長から石坂会長へ諮問書を手渡す。</p> <p>7 議事 議事開始前に議事録の署名委員として関根二三代委員、鈴木庄次委員を選任。 傍聴要領に基づき、会議の公開を決議。また、傍聴の人数は、10名と決定。次回以降の会議についても公開することを決定。</p> <p>[傍聴人2名の入室]</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) スケジュール及び会議の進め方について 資料1に基づき説明。</p> <p>【意見・質疑等】 なし</p>
<p>事務局・支援事業者</p>	<p>(2) 第5次総合振興計画後期基本計画(素案)について 資料2・3に基づき説明。</p> <p>【意見・質疑等】</p>
<p>会長</p>	<p>少し補足説明を行いたい。資料2については、人口は増加し、子どもも減っていない数字が出ているが、今後の課題となりそうなことも示されている。アンケート調査では、「住み続けたいか」という問いに、住み続けたくないという回答が一定の割合あり、生活環境の不満も3割程度ある。生活上の不満を持っている方が約3割はいるということであり、数字上の満足度と市民の生活実感がなかなかリンクしていないのではないかと。</p> <p>「賑わいがあると思うか」という問いについては、賑わいの実感がなく、隣の越谷市・三郷市に賑わいがあることから、あまり賑わっている感じがしないのではないかと。賑わいをどうしていくか。市内で買い物をしない人が20数%いて、日用品の買い物なども近隣に依存している傾向であり、商業・産業が弱いということが見えてくる。</p> <p>また、教育の「未来を生きる力」についても「わからない」「身につけていない」と回答する人が多く、新中学校を建設するという話も出ているが、これだけ子どもが増えている中で、行き届いた教育が出来るのかという不安があるのかもしれない。強みもあるが、課題や不安があるという状況である。</p> <p>次に資料3については、目標値があるが、当然、現状値から高く設定されており、現計画で達成できているものもあれば、出来ていないものもある。</p> <p>皆さんにお願いしたいのは、資料3は現段階では素案であるが将来的には冊子になっていくので、計画の考え方や方向性について間違いがないかチェックしていただき、これから3回の会議の場でご意見をいただきたい。そのため、表現や言い回しなどの細かい部分にとらわれず、計画の骨格がこれでいいのかどうか、こ</p>

	<p>ういうところをこうしたほうがいいのではないかとといったご意見をいただきたい。</p> <p>それでは、簡単に計画の中身を皆さんと見ていきたい。</p> <p>第1章は市民参加やコミュニティ、第2章は福祉やスポーツといった健康福祉。第3章は防災などの生活環境。第4章は農業や商業、工業などの地域振興。第5章が教育。第6章は行政運営となっている。</p> <p>今日一日で全てを見てご意見を伺うことは難しいと考えている。次回の会議で皆さんからのご意見を伺う機会を設けたいと思うが、事務局からの説明を受けて、確認をしておきたいことや気付いたことについてご意見を伺いたい。内容まで踏み込んでのご提案もあれば、そちらも伺いたい。</p>
事務局	<p>資料2について、スライド24の「浸水被害の軽減への満足度」が「78.8%」と記載しているが、正しくは、「54.8%」であるため、訂正する。</p>
委員	<p>教育文化や子育てしやすさなどの満足度について、いろいろな自治体を調査していると思うが、そういった自治体と比較してどうか。</p>
支援業者	<p>データが手元にないため経験上での回答になるが、子育てしやすさについては、他市と比べて高い結果であると考えます。</p>
委員	<p>どれくらい高いのか。</p>
支援業者	<p>子育てについては、10ポイント程度高いのではないかと。この設問は、18歳未満の子どもを持つ親を対象としているが、その回答は、辛口になる傾向がある。そのため、満足度は高くても50%程度である。学校教育については、平均的であると思う。</p>
委員	<p>高齢者については、どうか。</p>
支援業者	<p>平均的であると考えます。</p>
委員	<p>将来、賑わいがないと歳入歳出のバランスが取れなくなる。如何に賑わいを作るかが大切である。あとは教育がまちづくりの基本であると考えます。</p> <p>また、市内の商店で買い物をするかについては、駐車場が重要となっているが、これは大型店を表している。個店の数字が出ていない。旭地区などは不便さがかなり出ている。高齢になって買い物が不便になり、コンビニでいいだろうというがコンビニまで歩いて行けない。配達もされないようなまちづくりではいけないと思う。</p>
会長	<p>公共交通も含まれてくる。</p>
委員	<p>吉川市はポテンシャルある地域に立地している。以前、UR都市機構できよみ野や美南地区の開発を担当していたが、住宅ばかりを作ってきた。結果的に人口が増えてきたことは良いことだが、住宅系ばかりで増えているので、将来的に人口が減少した場</p>

	<p>合にどうしても財政力が弱くなってしまう。商業関係は、周りに競争相手が多いが、それ以外の産業系の開発を進められないか。今までは、吉川美南駅東口の開発が最優先であったが、それが一応、緒についたということで、今後、旭地区や三輪野江地区のエリアで産業系の開発ができないか。基本理念としてはあるが、重点的に取り組む課題として、将来の財政基盤を豊かにしていく、吉川の立地条件を活かしていくという視点が必要ではないか。</p>
会長	<p>住宅開発が進んできたことで、たくさんの方が住むようになったが、産業面では弱く、地域的なアンバランスがあったり、開発によって格差の問題もあるのではないかと将来的にバランスの良い都市にならない。</p>
委員	<p>本日の資料には記載がないが、満足している理由の中に「自然が豊か」という回答が多い。吉川の場合、農地が多く、放っておいても自然豊かな感じがするが、農地は単一なもので、質の高い自然とは言えない。「質の高い自然の創出」ということが欠けていると思う。</p> <p>また、質問であるが、福祉や環境の視点が欠けているが重点テーマの位置付けはどういったものか。</p>
事務局	<p>総合振興計画は、全てのジャンルを網羅している計画であるが、その中から今後、重点的に取り組む必要があるであろうということを抜粋しているものである。</p>
委員	<p>重要な審議会であるが、18時から20時までの開催はどうか。頭の回転も良い早い時間の方がよいのではないかと。</p>
会長	<p>お仕事をされている方もいて、この時間になっているのではないかと。3回の会議であるので、しっかりと集中して取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>民生委員をやっており、駅南を担当しているが、バスが少なくなり、ある地域ではバスが運行されなくなってしまった。以前のように無料のバスでなくとも小さなミニバスのようなものが運行されないか。また、駅まで行っても市役所や体育館、公民館に行くにも、二重にお金がかかるし、体力的にも大変である。循環線のような交通網が整備されると高齢者も家に閉じこもらなくなる。行きたくても行かれないということが現実である。まずは、交通網が重要である。</p>
委員	<p>元気なときに公民館などに通っていた人が病気などで通えなくなり、結果的に重症化につながる状況がある。交通機関の整備は重要である。</p> <p>また、吉川市は、子育て世代の人がたくさん入ってきている。だからこそ、子どもを大切に作る施策は重要だと思っている。</p> <p>高齢者の問題では、現在の高齢者は20年前の高齢者とは違って、多様な問題を抱えている。例えば、障がい者の子どもを抱えて、ケアして高齢になっている人など、障がいと高齢の問題もある。また、結婚の年齢が高くなってきていて、子育てをしながら親の介護をするなど、色々な問題を抱えている人が増えて来てい</p>

	<p>るので、横断的な支援が必要であると考えてる。</p>
委員	<p>震災の場合の大火の問題について、津波のように高台に逃げればいいということではなくて、同時多発火災などにも取り組んでいった方がよい。自助・共助などにも関わってくる。</p>
会長	<p>消防の問題や都市計画の問題である消防車が入れないといった所がないようにするなどの問題にもかかわってくる。</p>
副会長	<p>自治会の加入率があるが、年々下がってきている。深刻なことは、以前から住んでいた方が自治会を退会する例もあることである。コミュニティは全ての部分に関わってくる。コミュニティがある程度拡充していれば、そこで解決できる問題もけっこうある。</p> <p>地域活動に参加しない理由が「仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから」とあるが、断る口実である。自治会活動は、それぞれの時間を割きながら活動しているが、「自治会活動は必要性がない」と思っている方が意外と多い。また、自治会は組織であるので、班長などの役職が回ってくると退会する人がいる。自治会活動の内容など我々も勉強しなければいけない部分もあるが、自治会加入を促進する働きをもっとしていけないといけない。</p>
会長	<p>特に若い人に入ってもらおう工夫をしていけないといけない。吉川で自治会の参加率を上げるモデルを作れると良いと思う。</p>
委員	<p>前期の重点テーマと後期の重点テーマの比較をすると、地域包括ケアシステムという医療と介護の連携をしていくことが喫緊の課題となっている。前期の中では地域医療体制の充実があったが、この地域包括ケアシステムを位置付けていかなければならないのに、その視点がない。また、高齢者の健康づくりをしていかなければならず、健康寿命を延ばすという視点も抜けている。また、障がい者のケアは常に重点的なテーマである訳で、グループホームなどがやっと立ち上がってきた。高齢者、障害者を含めて、今後の5年間の中できちっと確立していくことが重要であると考えてる。</p>
会長	<p>全体の構成として、「現状と課題」の次に「取り組みの方向性」がきて、「施策小項目」となっているが、重複している部分もあるので、もっとシンプルに構成を見直した方が見やすくなるのではないかな。なるべく見やすいように事務局には工夫してもらいたい。</p>
委員	<p>「関連する市民・地域等の取組み」について、計画ということで目的から取り組みの方向性まで主語は「市」であるが、ここに来て主語は「市民」になっている。計画とは一線を画す感じがする。混在させず、別立てや指標の後ろにしたほうが分かりやすいのではないかな。</p>
会長	<p>構成については、事務局に検討してもらいたい。</p>

委員	産業別人口について、第1次産業はこの20年で半分以下になっている。旭・三輪野江地区では、農家が多いように見えるが、実際の農業従事者はかなり高齢化していて、後継者がほとんどいなくなっている状況ではないか。数字的に出ているのか。
会長	この数値は、国勢調査であるので、実数はもっと少ないのではないか。
事務局	資料としては、改めてお調べしたい。
会長	様々な意見をいただいたが、会議時間の都合もあるので、次回の会議までに質問・ご意見を書いていただく様な紙を配布し、事務局が回答を出したうえで会議を迎えるような形で進めていきたい。
事務局	(3) 次回会議日程について 第2回会議については、12月15日(木)18時から、会場は、同じ204会議室で開催を予定したい。
	【質疑・応答】 なし
委員	(4) その他 このアンケートについては、人口に対し、どれくらいの割合で行ったものか。
事務局	市民意識調査については、毎年実施しているが、お示したデータは、平成28年度の調査結果である。本年度は、18歳以上の全市民を対象として、年齢・地域・性別に偏りが出ないように無作為抽出で1500人に送付し、595人から回答をいただいたものである。
副会長	8. 閉会 本日は、埼玉県民の日である。イオンレイクタウンのチラシには、県内の道の駅が紹介されている。近隣では、春日部などがあるが、吉川にもこのように他に発信できるようなものがあるかと思っています。 次回の会議日程も決まったので、引き続き、ご協力をお願いしたい。
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。	
平成 年 月 日	
署名委員	署名委員